

ITで地域課題を解決

「どうすれば身の回りの生活や、経営を改善できるか」「情報過多の時代。教

県立大学の挑戦

「新任教員」紹介⑥

PR

育はどうあるべきか」。社会の中のたくさん「問い」に対し、情報技術（IT）

情報システム学部 情報システム学科



【プロフィール】

京都大工学部卒、九州大大学院システム情報科学研究科博士課程後期単位取得。九州先端科学技術研究所の研究室長も務める。担当科目は「多変量解析」。千葉県船橋市出身

ありた だいさく
有田 大作 教授 (47)

を使って答えを探る。

あまたの情報を計測して解析し、蓄積する。それらをモノや仕組みとして、「見える化」する。この作業の繰り返しだ。

目下の研究テーマは「農業IT」。県外のトマト農家を対象に農作業の実証データを収集している。経験と勘に頼っていた農業に、生産性の向上や労務管理といった手法を導き出す試み。教育面では、新入生にアプリの企画を提案。一人暮らしで必要になる「買い

物」や「料理」など、身近なテーマを与えた。

「どういうアプリが一番いいのか、正解はない。誰も分からない答えを考え続け、どう本質に迫るかです」。地に足の着いた、学びの姿勢を重視している。

所属する学部、学科は今春新設された。ITを使って、地域社会の課題を解決していく。一緒に考えていきませんか」。高校生にもメッセージを送る。

【随時掲載】

県立大学 県内生は入学金が優遇されます。
0956 (47) 5856